

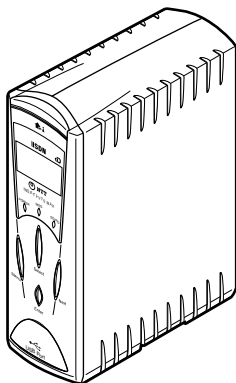
INSメイトV70 MAX インターネット接続ガイド

このたびは、INSメイトV70 MAXをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、この「インターネット接続ガイド」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

お読みになったあとも、本装置のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

この「インターネット接続ガイド」の内容は、お客様がインターネットサービスプロバイダに契約されていることを前提としています。



技術基準適合認証品

Windows[®] 95は、Microsoft[®] Windows[®] 95 operating systemの略です。

Windows[®] 98は、Microsoft[®] Windows[®] 98 operating systemの略です。

Windows[®] 2000は、Microsoft[®] Windows[®] 2000 operating systemの略です。

Windows NT[®] 4.0は、Microsoft[®] Windows NT[®] operating system Version 4.0の略です。

Windows , Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

Netscape Navigatorは米国Netscape Communications Corporationの登録商標です。

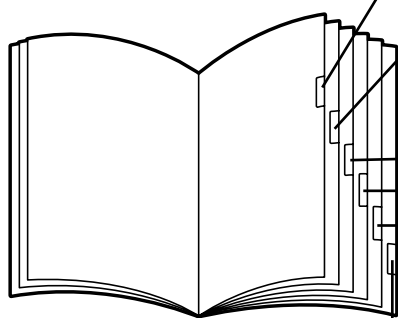
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

AmLINK© AMD

本書の見かた

インターネットに接続するためには、本装置の機能に関する設定だけでなく、ご使用になっているパソコンやご契約のプロバイダに合わせて設定を行う必要があります。本書では、インターネット接続の一般的な手順を追いながら、本装置を使用するために必要な設定を重点的に解説しています。ご利用になるネットワークソフトの説明書やプロバイダからの案内等を合わせて参照してください。

本書の構成

- 
- 1 準備
インターネット接続に必要なソフトウェアや接続までの手順を説明しています。
 - 2 Windows[®] 95 / Windows[®] 98で接続する
Windows[®] 95、Windows[®] 98をご利用の場合のソフトウェアのインストールや設定操作を説明しています。
 - 3 Windows[®] 2000で接続する
Windows[®] 2000をご利用の場合のソフトウェアのインストールや設定操作を説明しています。
 - 4 Windows NT[®] 4.0で接続する
Windows NT[®] 4.0をご利用の場合のソフトウェアのインストールや設定操作を説明しています。
 - 5 Mac OSで接続する
Mac OSをご利用の場合のソフトウェアのインストールや設定操作を説明しています。
 - 6 ご参考
インターネットに接続できないときなどのチェックポイントを説明しています。

目次

本書の見かた	3
本書の構成	3

1 準備

インターネット利用に必要なもの	6
インターネットへ接続するまでの手順	7

2 Windows® 95 / Windows® 98で接続する

接続に必要なソフトウェアをインストールするには	8
ダイヤルアップネットワークをインストールする	8
TCP/IPをインストールする	11
イーージーウィザードでインターネット接続の設定を行うには	14
本装置を使用できるようにするには	22
モデム情報をインストールする	22
モデムのプロパティを設定する	27
プロバイダの情報を設定するには	29
接続を作成する	29
接続のプロパティを設定する	32
インターネットに接続するには	36
プロバイダとの接続を確認する	36

3 Windows® 2000で接続する

本装置を使用できるようにするには	39
モデム情報をインストールする	39
プロバイダの情報を設定するには	44
接続を作成する	44
接続のプロパティを設定する	49
インターネットに接続するには	54
プロバイダとの接続を確認する	54

4 Windows NT® 4.0で接続する

本装置を使用できるようにするには	57
モデム情報をインストールする	57
リモートアクセスサービスを設定する	58
プロバイダの情報を設定するには	64
アクセスポイントを電話帳エントリに登録する	64
接続のプロパティを設定する	67
インターネットに接続するには	73
プロバイダとの接続を確認する	73

5 Mac OSで接続する

イーザーウィザードでインターネット接続の設定を行うには	75
プロバイダの情報を設定するには	83
接続アシスタントでモデムやサーバ情報を設定する	83
TCP/IPを設定する	84
インターネットに接続するには	86
プロバイダとの接続を確認する	86
Mac OS 8より以前のOSを利用している場合は	89
Mac OS 7.6 / Mac OS 7.6.1を使用している場合	89
漢字Talk7.5.1 / 漢字Talk7.5.2を使用している場合	91
漢字Talk7.5.3 / 漢字Talk7.5.5を使用している場合	92

6 ご参考

うまく接続できないときは	93
索引	95

ここでは、本装置を使用してインターネットに接続するために必要な準備について説明します。ご使用になっているパソコンのOSごとに例を示しますので、参考にして必要なものを用意してください。

Windowsの場合

ご利用のOS 必要なもの	Windows® 95 Windows® 98	Windows® 2000	Windows NT® 4.0
プロバイダへの加入	インターネットに接続するサービスを提供するプロバイダに加入してください。		
TCP/IPソフトウェア	OSに付属しています。		
PPPモジュール	OSに付属しています。		
	ダイヤルアップネットワーク		
アプリケーション	WWW、電子メール、FTPなど利用するサービスに合わせて用意してください。		

Mac OSの場合

Mac OSのバージョン 必要なもの	漢字Talk7.5.1 漢字Talk7.5.2	漢字Talk7.5.3 漢字Talk7.5.5	Mac OS 7.6 Mac OS 7.6.1 Mac OS 8以降
プロバイダへの加入	インターネットに接続するサービスを提供するプロバイダに加入してください。		
TCP/IPソフトウェア	OSに付属しています。		
	MacTCP	TCP/IP	
PPPモジュール	フリーウェアや市販ソフトウェアで用意してください。		OSに付属しています。
	MacPPPなど	FreePPPなど	Open Transport PPP
アプリケーション	WWW、電子メール、FTPなど利用するサービスに合わせて用意してください。		



ワンポイント

- インターネットに必要なソフトウェア
インターネットを利用するために必要な3種類のソフトウェアには、次のような働きがあります。
 - ・TCP/IP 通信するためのネットワークプロトコルを提供します。
 - ・PPPモジュール..... アクセスポイントにダイヤルしてプロバイダのサーバに接続するためのソフトウェアです。
 - ・アプリケーション ... インターネットのさまざまなサービスを利用するためのソフトウェアです。

インターネットへ接続するまでの手順

インターネットに接続する一般的な手順です。本書では、～ の手順を説明しています。

プロバイダへ加入する

- インターネットに接続するサービスを提供するプロバイダに加入します。
- プロバイダへの加入は、料金やアクセスポイント、MP対応などを調べて行ってください。
- プロバイダへ加入すると、ユーザID、パスワード、DNSサーバのIPアドレス、アクセスポイントの電話番号などが通知されます。
- 詳細は、加入するプロバイダにお問い合わせください。

必要なソフトウェアをインストールする

- TCP/IPソフトウェア、PPPモジュールなどの必要なソフトウェアをインストールします。
(ご利用のパソコンによっては、TCP/IPソフトウェア、PPPモジュールがインストールされている場合もあります。)

本装置をINSネット64に接続する

- 本装置の取扱説明書P35を参照して、INSネット64に正しく接続します。

本装置にパソコンを接続する

- 本装置の取扱説明書P35を参照して、パソコンを正しく接続します。

「INSメイトV70 MAXユーティリティ」をインストールする

- 付属品のCD-ROMを使用して「INSメイトV70 MAXユーティリティ」をパソコンにインストールします。(取扱説明書●P212、264)

本装置の設定を行う

- イージーウィザード(取扱説明書●P212、264)またはイージーセットソフト(取扱説明書●P224、272)で必要な設定を行います。
- USBポートに接続している場合は、イージーウィザードでUSBポート用アダプタをインストールすることができます。

イージーウィザードで設定した場合
(Windows® 95 / Windows® 98 /
Mac OS)

イージーセットソフトで設定した場合
(Windows® 95 / Windows® 98 / Windows®
2000 / Windows NT® 4.0 / Mac OS)

設定を行う

- モデム定義ファイル(Windows)をインストールします。
- 本装置を使用するための設定を行います。
- TCP/IPソフトウェア、PPPモジュールにプロバイダから通知された内容を設定します。

インターネットへ接続する

- PPPモジュールを使用してインターネットに接続します。
- インターネットのさまざまなサービスを利用するには、利用するサービス用のアプリケーションが必要です。
- 詳細はソフトウェアメーカー、プロバイダにお問い合わせください。

Windows® 95 / Windows® 98は、インターネットの接続に必要なTCP/IPとPPPモジュール（ダイヤルアップネットワーク）を搭載しています。最初に、それらのソフトウェアをWindows® 95 / Windows® 98のCD-ROMからインストールします。

操作手順は、Windows® 98の例です。Windows® 95も同様の手順で行うことができます。画面は一例です。

ダイヤルアップネットワークをインストールする

1 パソコンの電源を入れ、起動する。

2 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする。



ダイヤルアップネットワークがインストールされているときは、[ダイヤルアップネットワーク] フォルダが表示されます。

ダイヤルアップネットワークがインストールされていないときは、手順3以降の操作を行ってください。ダイヤルアップネットワークがインストールされていたときは、「TCP/IPをインストールする」(P11)に進んでください。



- 3** [スタート]をクリックしたあと、[設定]をポイントし、[コントロールパネル]をクリックする。

[コントロールパネル]が表示されます。



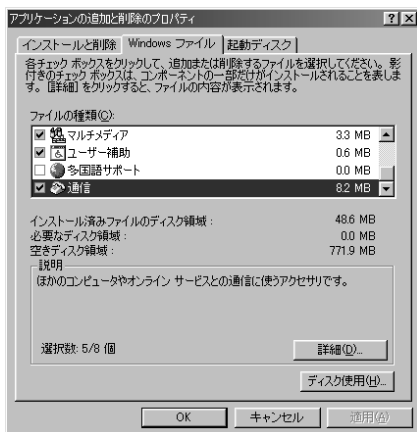
- 4** [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックする。



- 5** [Windowsファイル] タブをクリックする。

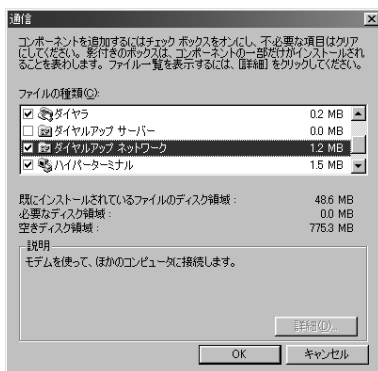
(次ページへ続く)

- 6 [ファイルの種類] から [通信] をチェックする。



- 7 [詳細] をクリックする。

- 8 [ダイヤルアップネットワーク] をチェックする。



- 9 [OK] をクリックする。

10 Windows[®] 95 /
Windows[®] 98のCD-
ROMをセットし、[OK] を
クリックする。

インストールしたダイヤルアップネット
ワークはWindows[®] 95 /
Windows[®] 98を再起動すると有効に
なります。

TCP/IPをインストールする

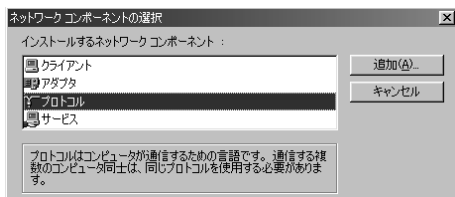
1 [コントロールパネル] の
[ネットワーク] アイコンを
ダブルクリックする。



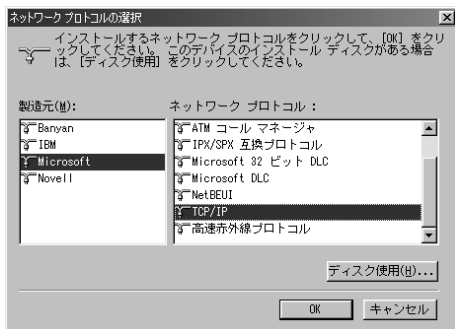
[現在のネットワークコンポーネント]
の一覧に、[TCP/IP] があるときは、
すでにTCP/IPがインストールされて
います。[キャンセル] をクリックし
て、インストールを中止してください。



(次ページへ続く)

2 [追加] をクリックする。**3** [インストールするネットワークコンポーネント] の中の [プロトコル] をクリックし、[追加] をクリックする。

Windows® 95では [インストールするネットワーク構成ファイル] と表示されます。

4 [製造元] 中の [Microsoft] をクリックし、[ネットワークプロトコル] 中の [TCP/IP] をクリックする。**5** [OK] をクリックする。

6 Windows® 95 / Windows® 98のCD- ROMをセットし、[OK]を クリックする。

インストールしたTCP/IPは
Windows® 95 / Windows® 98を
再起動すると有効になります。



お知らせ

- モデム内蔵のパソコンなどでは、あらかじめダイヤルアップネットワーク、TCP/IPがインストールされている場合があります。その場合は、これらのインストールを行う必要はありません。
- ここでは、インストール方法の一例を紹介しています。詳細については、パソコンメーカー、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- パソコンを再起動させるときは、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないことを確認してください。入っていれば抜いてから再起動させてください。入っていると正常に再起動できません。

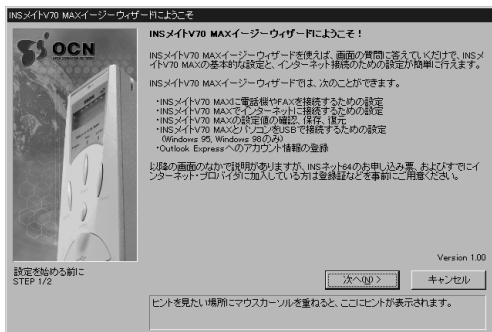
イージーウィザードでインターネット接続の設定を行うには

イージーウィザードを使用して、インターネット接続に必要なパソコンと本装置の設定を一度に行うことができます。お手元にプロバイダから通知されたユーザIDやパスワードが記載されたメモを用意して操作を始めてください。

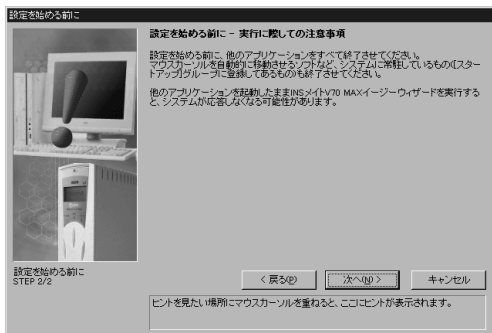
1 本装置とパソコンの接続を確認して、本装置の電源を入れる。

2 [スタート] をクリックして、[プログラム] [INSメイトV70 MAXユーティリティ] の順にポイントし、[INSメイトV70 MAXイージーウィザード] をクリックする。

イージーウィザードが起動します。

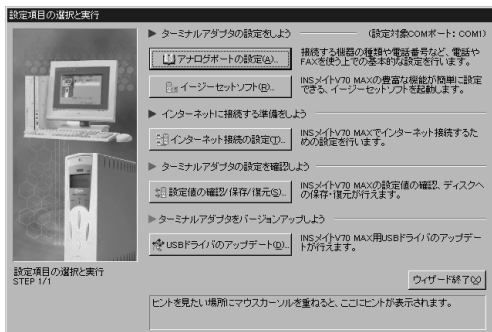


3 表示された内容を読んで、[次へ>] をクリックする。



4 起動中のアプリケーション をすべて終了して、[次へ >] をクリックする。

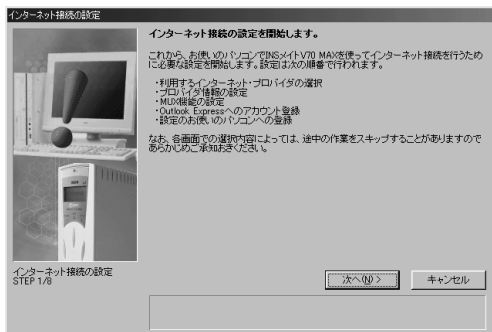
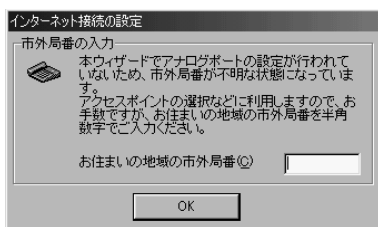
メニュー画面が表示されます。



5 [インターネット接続の設 定] をクリックする。

イージーウィザードでアナログポート
の設定が行われていない場合は、市外
局番の入力画面が表示されます。

お住まいの地域の市外局番を入力し、
[OK] ボタンをクリックしてください。



(次ページへ続く)

6 表示された内容を読んで、
[次へ >] をクリックする。

[プロバイダの選択] が表示されます。

7 プロバイダについてラジオ
ボタンを選択する。

[設定を行わない] を選択した場合は、
[次へ >] をクリックし、手順 13 へ進
みます。

OCNダイヤルアクセスをご契約の
場合

[OCNダイヤルアクセスを利用す
る] を選択

OCNダイヤルアクセス以外のプロ
バイダについて設定する場合

[他のプロバイダを利用する] を選
択

プロバイダについて設定済みの場合

[設定を行わない] を選択

8 [次へ >] をクリックする。

[アクセスポイント情報の設定] が表
示されます。

9 アクセスポイントの電話番
号を設定する。

手順 7 で [OCNダイヤルアクセスを
利用する] を選択した場合

[最寄りの AP]

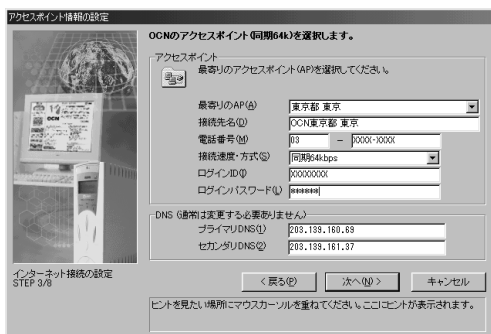
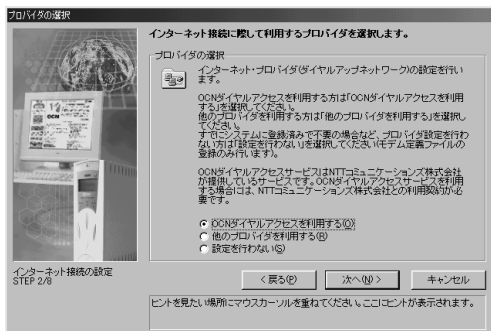
...プルダウンで最寄りの地名を選択

[ログイン ID]

...プロバイダ (OCN) から取得し
たログイン ID (ユーザ名、アカ
ウント等) を入力

[ログインパスワード]

...パスワードを入力



手順7で [他のプロバイダを利用する] を選択した場合

[接続先名]

...接続するプロバイダの名称など
わかりやすい名前を入力

[電話番号]

...アクセスポイントの電話番号
- (ハイフン) は入力してもしなくてもかまいません。

[ログインID]

...プロバイダから取得したログインID (ユーザ名、アカウント等) を入力

[接続速度・方式]

...利用する接続速度・方式 (通信モード) を選択

[ログインパスワード]

...パスワードを入力

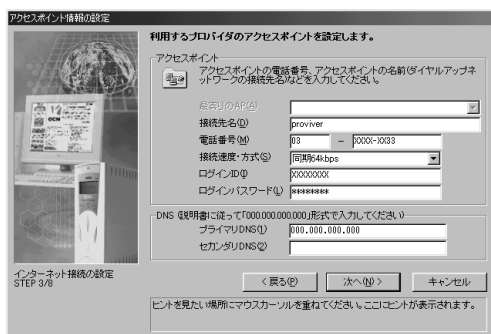
[DNS]

...DNS (ドメイン・ネーム・システム) サーバのIPアドレスを入力

10

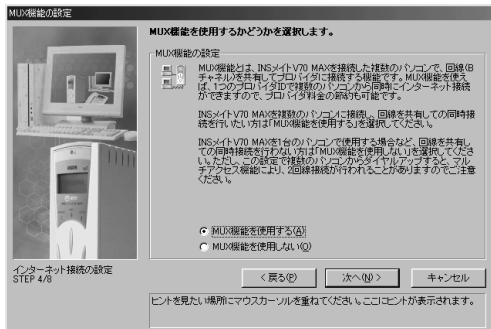
[次へ >] をクリックする。

[MUX機能の設定] が表示されます。



(次ページへ続く)

- 11** MUX機能を使用するかどうかをラジオボタンで選択する。

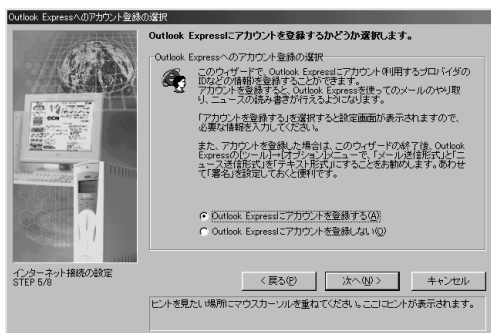


- 12** [次へ >] をクリックする。

[Outlook Expressへのアカウント登録の選択] が表示されます。

- 13** メールアカウントとニュースアカウントを、ここで設定するかどうかをラジオボタンで選択する。

[Outlook Expressにアカウントを登録しない] を選択した場合は、[次へ >] をクリックし、手順17へ進みます。



14 [次へ] をクリックする。

[Outlook Expressの設定] が表示されます。

15 メールアカウントとニュースアカウントを設定する。

メールアカウント

[アカウントの表示名]

...メールアカウントに付ける名前を入力

[あなたの名前]

...送信したメールに表示される名前を入力

[電子メールアドレス]

...プロバイダから取得したメールアドレスを入力

[送信サーバー (SMTP)]

...プロバイダからの説明書を見て入力

[受信サーバー (POP3)]

...プロバイダからの説明書を見て入力

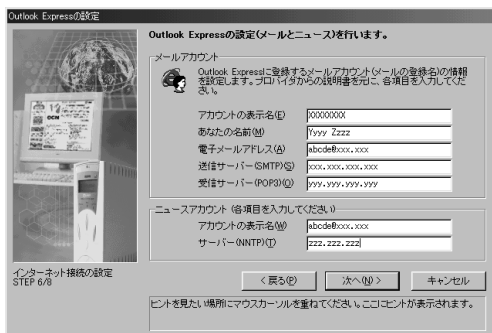
ニュースアカウント (省略可)

[アカウントの表示名]

...ニュースアカウントに付ける名前を入力

[サーバー (NNTP)]

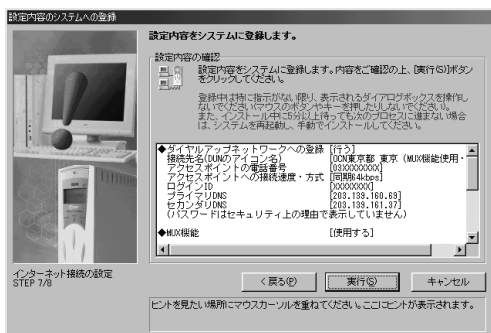
...プロバイダからの説明書を見て入力



(次ページへ続く)

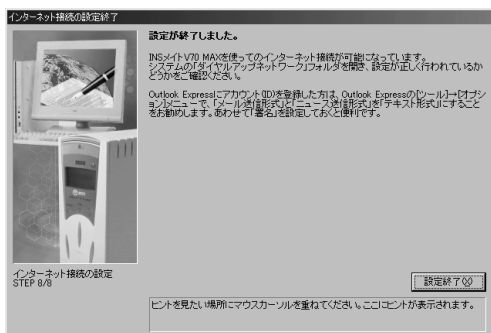
16 [次へ>] をクリックする。

設定内容が表示されます。



17 設定内容を確認して [実行] をクリックする。

モデム情報のインストールやインターネット接続の設定が自動的に行われます。設定が終了すると、[インターネット接続の設定終了]が表示されます。



18 [設定終了] をクリックする。

イージーウィザードのメニュー画面に戻ります。

19 [ウィザード終了] をクリックする。

イージーウィザードが終了します。



ワンポイント

- イージーウィザードのインストール
付属のCD-ROMから「INSメイトV70 MAXユーティリティ」をインストールすると、イージーウィザードも同時にインストールされます。(取扱説明書●P212)
INSメイトV70 MAXユーティリティをインストールする(取扱説明書●P212)



お知らせ

- OCNダイヤルアクセスは、NTTコミュニケーションズ株式会社が提供しているサービスです。OCNダイヤルアクセスを利用する場合には、NTTコミュニケーションズ株式会社との契約が必要です。
- 手順4で「INSメイトV70 MAXが接続されているポートが見つかりません。…」と表示されたときは、[キャンセル]をクリックし、イージーウィザードを中断します。本装置の電源が入っているか、本装置とパソコンが正しく接続されているかを確認してください。
- ご利用のパソコンによっては、イージーウィザードが起動しなかったり、操作の途中で止まる場合があります。そのようなときは、アナログポートの設定はイージーセットソフトで行い、インターネットへの設定はP22以降を参照して行ってください。

パソコンで本装置を使用するために、モデム情報のインストールと通信速度などの設定を行います。イーザーウィザードで設定を行った方は、この操作を行う必要はありません。操作手順は、Windows® 98の例です。Windows® 95も同様の手順で行うことができます。画面は一例です。

モデム情報をインストールする

- 1** [コントロールパネル]の
[モデム]アイコンをダブル
クリックする。



[モデムのプロパティ] ダイアログ
ボックスが表示されます。

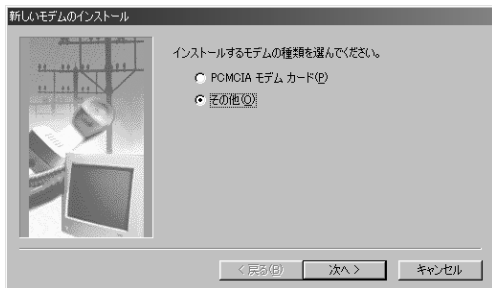
これまでモデムがセットアップされて
いなかった場合は、[モデムウィザード]
が表示されますので、手順3または
手順4へ進みます。



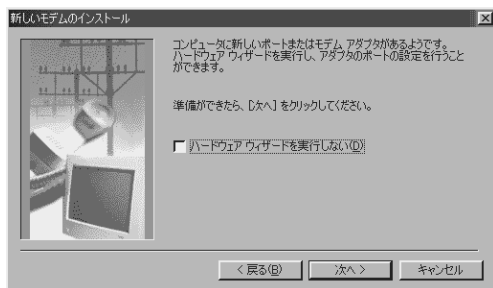
- 2** [追加] をクリックする。

モデムウィザードが表示されます。

ここで、手順4の画面が表示された場
合は、手順5へ進みます。

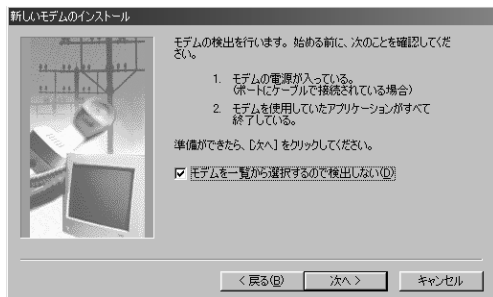


- 3** [その他] を選択し、[次へ >] をクリックする。



- 4** [ハードウェアウィザードを実行しない] をチェックし、[次へ >] をクリックする。

表示されない場合は、手順6へ進みます。



- 5** [モデムを一覧から選択するので検出しない] をチェックして、[次へ >] をクリックする。

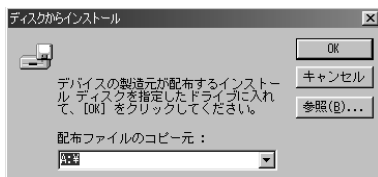


(次ページへ続く)

6 [ディスク使用] をクリックする。

[ディスクからインストール] 画面が表示されます。

Windows® 95では、[フロッピーディスクからのインストール] と表示されます。



7 付属のCD-ROMをセットし、[参照] をクリックする。 インストールするモデム情報ファイル を選択する画面が表示されます。

8 [ドライブ] をプルダウンし、 CD-ROMを選択する。

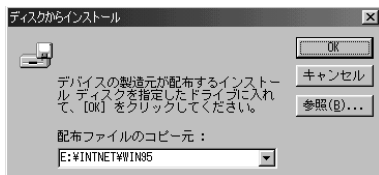
CD-ROMの中に入っているフォルダ
が表示されます。

9 CD-ROMの中の「Intnet」 フォルダをダブルクリック し、さらに「Win95」フォル ダをダブルクリックする。

Windows® 95の場合も、「Intnet」
「Win95」フォルダをダブルクリ
ックしてください。



- 10** 「mdmnv.inf」ファイルを
クリックし、[OK] をク
リックする。



- 11** [OK] をクリックする。

モデムウィザードに戻ります。

- 12** モデム情報をクリックする。

接続するアクセスポイントに合わせて、**モデム情報**を選択してください。
非同期 (38.4/57.6 kbit/s)

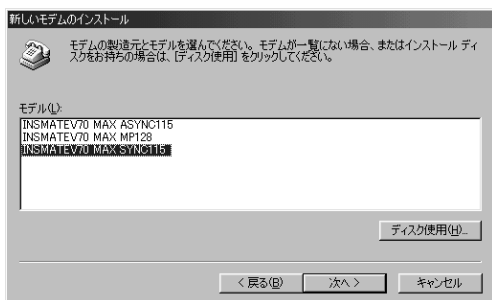
...INSMATEV70 MAX ASYNC115

同期 (64 kbit/s)

...INSMATEV70 MAX SYNC115

マルチリンクPPP (128 kbit/s)

...INSMATEV70 MAX MP128



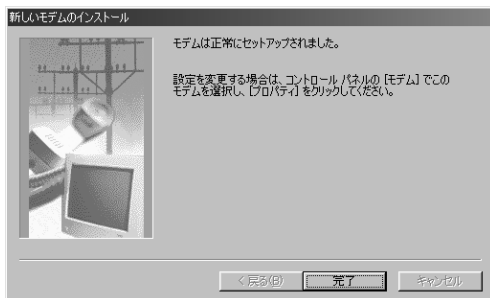
- 13** [次へ >] をクリックする。

接続ポートの設定になります。



(次ページへ続く)

- 14** [モデムを接続するポート]
の中から本装置を接続して
いるポートをクリックし、
[次へ >] をクリックする。
モデム情報がインストールされます。



- 15** [完了] をクリックする。

モデムのプロパティにインストールした
モデム情報が表示されます。



モデムのプロパティを設定する

- 1 インストールしたモデム情報をクリックし、[プロパティ] をクリックする。

[INSMATEV70 MAX SYNC115 のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

- 2 [最高速度] をプルダウンし、表示される速度の中から最も大きい数値をクリックする。



- 3 [OK] をクリックする。

[モデムのプロパティ] ダイアログボックスに戻ります。

- 4 [ダイヤルのプロパティ] をクリックする。

所在地情報の設定になります。

(次ページへ続く)

- 5** インターネットを接続するときの発信元の情報を入力する。

[登録名]

...使用する場所などの名称（標準のままでもよい）

[市外局番]

...先頭の0を除いた番号（例：03のときは3）

[国名/地域]

...プルダウンで[日本]をクリック
その他の項目は入力する必要はありません。



- 6** [OK] をクリックする。

ダイヤルのプロパティの設定は終了しました。

- 7** [閉じる] をクリックする。

本装置の設定は終了しました。



お知らせ

- モデムの最高速度とは
モデムのプロパティで設定した最高速度は、パソコンと本装置間の通信速度です。インターネットの通信速度のことではありません。通常、パソコンとモデムやTA（本装置）間の速度は、インターネットの通信速度より高く設定します。
- マルチリンクPPP（128 kbit/s）でインターネットに接続する場合、本装置とパソコン間の通信速度（●P27）を230 400 bit/sに設定してください。その場合、ご利用のパソコンによっては、市販の高速シリアルボードを別途用意する必要があります。

接続するプロバイダの情報を設定します。プロバイダから通知されたユーザID、DNSサーバのIPアドレス、アクセスポイントなどのメモを用意して設定を行ってください。また、プロバイダから設定についての情報が提供されている場合は、合わせて参照してください。イメージウィザードで設定を行った方は、この操作を行う必要はありません。

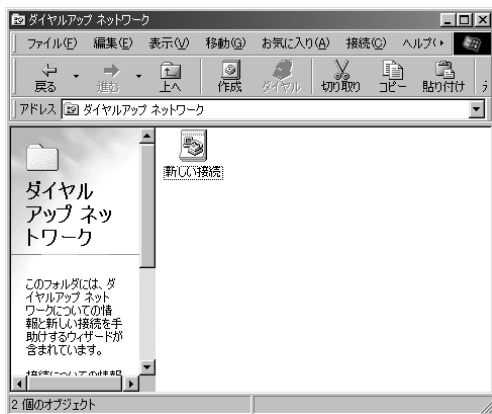
操作手順は、Windows® 98の例です。Windows® 95も同様の手順で行うことができます。画面は一例です。

接続を作成する

1 デスクトップの [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする。

2 [ダイヤルアップネットワーク] フォルダをダブルクリックする。

「ダイヤルアップネットワークへようこそ」が表示された場合は、[次へ>] をクリックし、手順3へ進んでください。



3 [新しい接続] アイコンをダブルクリックする。

[新しい接続] ダイアログボックスが表示されます。



(次ページへ続く)

4 [接続名] に接続するプロバイダの名称などの、わかりやすい名前を入力する。

5 [モデムの選択] に「モデム情報をインストールする」(●P22) でインストールしたモデム情報が表示されていることを確認する。

他のモデム情報が表示されているときは、[モデムの選択] をプルダウンして、使用するモデム情報をクリックします。

接続するアクセスポイントに合わせて、モデム情報を選択してください。

非同期 (38.4/57.6 kbit/s)

...INSMATEV70 MAX ASYNC115

同期 (64 kbit/s)

...INSMATEV70 MAX SYNC115

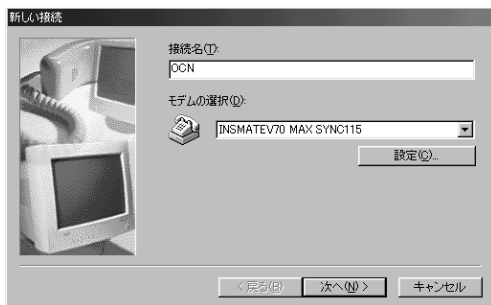
マルチリンクPPP (128 kbit/s)

...INSMATEV70 MAX MP128

PIAFS32K、PIAFS64K

...INSMATEV70 MAX SYNC115

6 [次へ >] をクリックする。



7 アクセスポイントの電話番号を入力する。

[市外局番]

...アクセスポイントの市外局番、先頭の0を除いた番号（例：03のときは3）

[電話番号]

...アクセスポイントの電話番号
- （ハイフン）は入力してもしなくてもかまいません。

[国番号]

...プルダウンで[日本 (81)]をクリック

PIAFS32Kのアクセスポイントに接続するときは、市外局番を空白にし、電話番号を市外局番から入力し末尾に「PF」を付けてください。（PIAFS64Kのアクセスポイントのときは「PD」）また、「接続のプロパティを設定する」（P32）で、「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックを必ず外して にしてください。

PIAFS以外のアクセスポイントのとき

新しい接続

接続先の電話番号を指定してください：

市外局番(R) : 3 - 電話番号(T) : 00000000

国番号(C) : 日本 (81)

< 戻る(B) > < 次へ(F) > キャンセル

PIAFS32Kのアクセスポイントのとき

新しい接続

接続先の電話番号を指定してください：

市外局番(R) : - 電話番号(T) : 3000000000PF

国番号(C) : 日本 (81)

< 戻る(B) > < 次へ(F) > キャンセル

8 [次へ >] をクリックする。

新しい接続

新しいダイヤルアップ ネットワーク接続が次の名前で作成されました。

OCN

[完了] をクリックすると、接続が [ダイヤルアップ ネットワーク] フォルダに保存されます。
接続するには、作成されたアイコンをダブルクリックしてください。

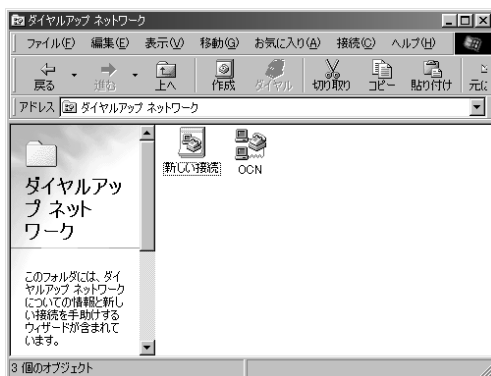
後で接続の設定を変更するには、接続のアイコンをクリックしてから [ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックしてください。

< 戻る(B) > 完了 キャンセル

（次ページへ続く）

9 [完了]をクリックする。

[ダイヤルアップネットワーク]に、作成した接続のアイコンが表示されます。

**接続のプロパティを設定する****1** 作成した接続にポインタを合わせ、マウスの右ボタンをクリックする。

ショートカットメニューが表示されます。



- 2** ショートカットメニューの
[プロパティ] をクリックす
る。

作成した接続のプロパティ設定ダイア
ログボックスが表示されます。



- 3** PIAFSのアクセスポイント
に接続するときは、[市外局
番とダイヤルのプロパティ
を使う] のチェックを外す。

PIAFS以外のアクセスポイントに接続
するときは、チェックしたままにして
ください。

Windows® 95の場合は、[国番号と
市外局番を使う] と表示されます。

- 4** [サーバーの種類] タブをク
リックする。

- 5** [詳細オプション] のチェッ
クをすべて外す。

- 6** [使用できるネットワークプ
ロトコル] の [TCP/IP]
のみチェックし、他のチェッ
クを外す。

(次ページへ続く)

- 7** [ダイヤルアップサーバーの種類]「PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98」が表示されていることを確認する。

他のサーバの種類が表示されているときは、[ダイヤルアップサーバーの種類]をプルダウンして[PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98]をクリックします。Windows® 95の場合は、[PPP:Windows 95、Windows NT 3.5、インターネット]と表示されます。



- 8** [TCP/IP設定]をクリックする。

[TCP/IP設定] ダイアログボックスが表示されます。

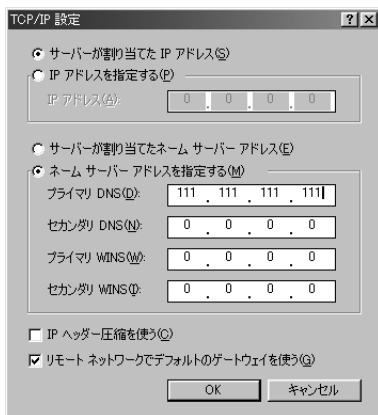
- 9** [サーバーが割り当てたIPアドレス]のラジオボタンが選択されていることを確認する。

- 10** [ネームサーバーアドレスを指定する]のラジオボタンをクリックし、プロバイダから通知されたDNS（ドメイン・ネーム・システム）サーバのIPアドレスを入力する。

11 [IPヘッダー圧縮を使う] の チェックを外す。

Windows ® 95では [IPヘッダー圧縮
を使用] と表示されます。

[TCP/IP設定] の設定の詳細は、プロ
バイダから通知された設定に従って行
ってください。



12 各画面で [OK] をクリック する。

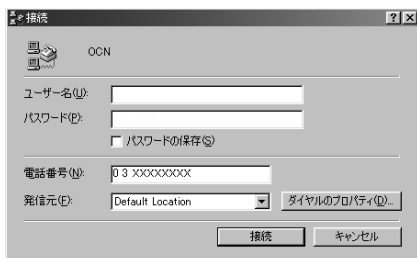
接続のプロパティの設定が完了しま
す。

プロバイダのサーバに正しく接続できるか、接続操作で確認します。

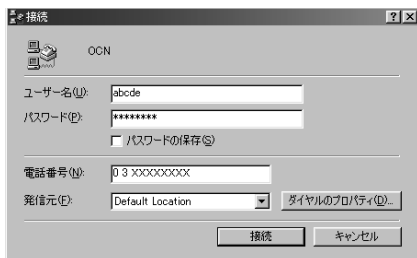
操作手順は、Windows® 98の例です。Windows® 95も同様の手順で行うことができます。
画面は一例です。

プロバイダとの接続を確認する

- 1 作成した接続のアイコンをダブルクリックする。

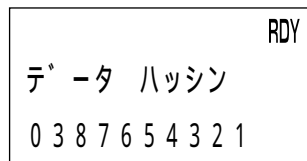


- 2 [ユーザー名]と[パスワード]を入力する。

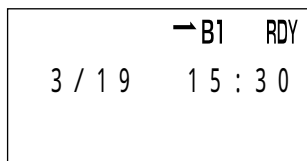


3 [接続] をクリックする。

アクセスポイントにダイヤルされます。



つながるとユーザ名とパスワードが確認され、インターネットへの接続が完了すると接続時間が表示されます。



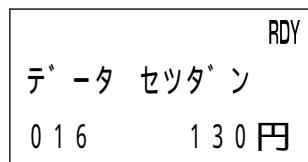
4 接続を確認したら、タスクトレイの [ダイヤルアップネットワークモニタ] アイコンをダブルクリックする。

Windows® 95の場合は、[ダイヤルアップネットワーク] が表示されたままですので、この操作は必要はありません。



5 [ダイヤルアップネットワーク] の [切断] をクリックする。

回線が切断されます。



(次ページへ続く)



お知らせ

- モデム情報として同期64K通信用の「INSMATEV70 MAX SYNC115」(P30)を選択しているにもかかわらず、本装置のディスプレイに **B1** が表示されるときは、何らかの支障によりマルチリンクPPP通信で接続されています。このような場合は、モデム情報を一度削除して、再度インストールし直してください。
- 切断操作を行っても **B1** または **B2** が消えないときは、回線が切断されていません。このようなときは、他の機器（電話機など）が通信中でないことを確認して、本装置とINSネット64を接続している電話機コードを一度抜いて回線を強制的に切断してください。
- 本装置のRS-232CポートまたはUSBポートは、相手が話中の場合、自動的に再発信する回数を、最初の発信から3分間で2回までに制限しています。この制限を超えて再発信しようとしても受け付けられません。

パソコンで本装置を使用するために、モデム情報のインストールと通信速度などの設定を行います。Windows® 2000では、イーजीウィザードは使用できません。

モデム情報をインストールする

- 1** [コントロールパネル]の
[電話とモデムのオプション]
アイコンをダブルクリ
ックする。



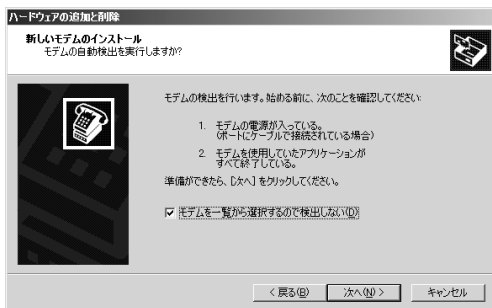
[電話とモデムのオプション]ダイア
ログボックスが表示されます。

- 2** [モデム]タブをクリックす
る。



- 3** [追加]をクリックする。

ハードウェアの追加と削除ウィザード
が表示されます。



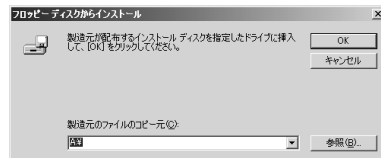
(次ページへ続く)

- 4** [モデムを一覧から選択するので検出しない] をチェックして、[次へ >] をクリックする。



- 5** [ディスク使用] をクリックする。

[フロッピーディスクからインストール] 画面が表示されます。



- 6** 付属のCD-ROMをセットし、[参照] をクリックする。
インストールするモデム情報ファイルを選択する画面が表示されます。

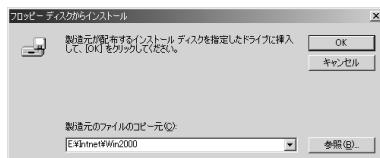
- 7** [ファイルの場所] をプルダウンし、CD-ROMを選択する。

CD-ROMの中に入っているフォルダが表示されます。

- 8** CD-ROMの中の「Intnet」フォルダをダブルクリックし、さらに「Win2000」フォルダをダブルクリックする。

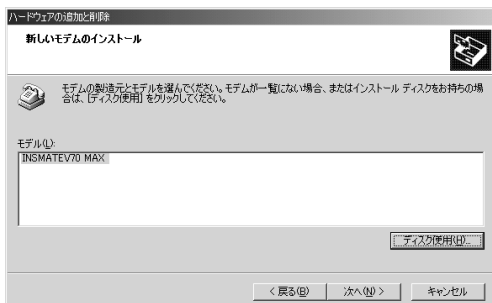


- 9** 「mdmnv2.inf」ファイルをクリックし、[開く] をクリックする。



- 10** [OK] をクリックする。

ハードウェアの追加と削除ウィザードに戻ります。



(次ページへ続く)

11 [次へ >] をクリックする。



12 [選択したポート] をクリックする。

13 一覧から本装置を接続しているCOMポートをクリックし、[次へ >] をクリックする。

[デジタル署名が見つかりませんでした] が表示されます。



- 14** [はい] をクリックする。
モデム情報がインストールされます。



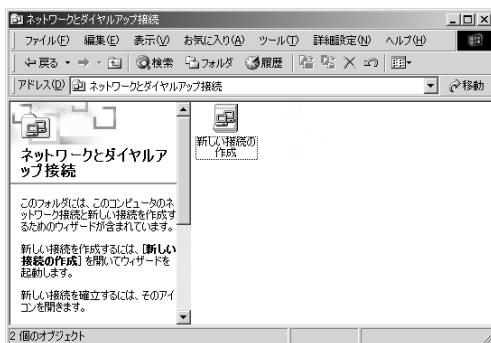
- 15** [完了] をクリックする。
[電話とモデムのオプション] の [モデム] タブにインストールしたモデム情報が表示されます。



接続するプロバイダの情報を設定します。プロバイダから通知されたユーザID、DNSサーバのIPアドレス、アクセスポイントなどのメモを用意して設定を行ってください。また、プロバイダから設定についての情報が提供されている場合は、合わせて参照してください。イーザーウィザードで設定を行った方は、この操作を行う必要はありません。

接続を作成する

- 1 [コントロールパネル]の[ネットワークとダイヤルアップ接続]アイコンをダブルクリックする。

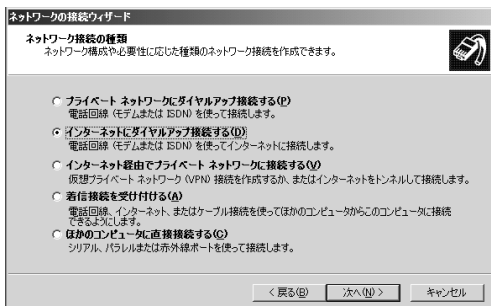


- 2 [新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックする。

ネットワークの接続ウィザードが表示されます。

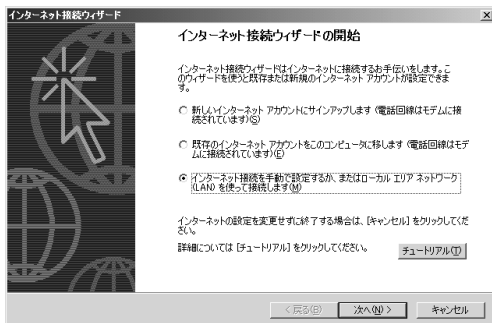


- 3 [次へ>]をクリックする。



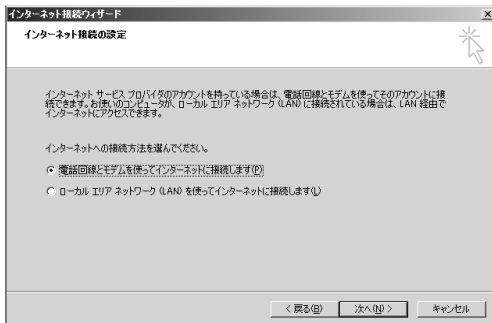
4 [インターネットにダイヤルアップ接続する]をクリックする。

5 [次へ>]をクリックする。



6 [インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク (LAN) を使って接続します]をクリックする。

7 [次へ>]をクリックする。



8 [電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します]をクリックする。

(次ページへ続く)

9 [次へ>] をクリックする。

すでに他のモデムがインストールされている場合は、「INSMATEV70 MAX」を選択してください。

10 アクセスポイントの電話番号を入力する。

[市外局番]

...アクセスポイントの市外局番、先頭の0を除いた番号（例：03のときは3）

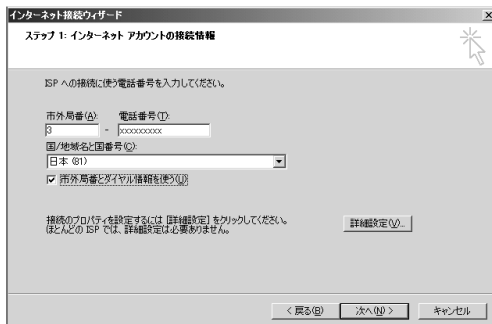
[電話番号]

...アクセスポイントの電話番号
-（ハイフン）は入力してもしなくてもかまいません。

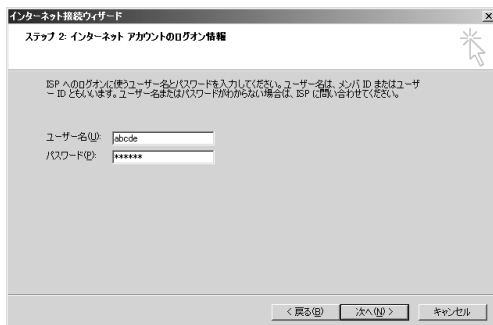
[国/地域名と国番号]

...プルダウンで[日本(81)]をクリック

11 [次へ>] をクリックする。

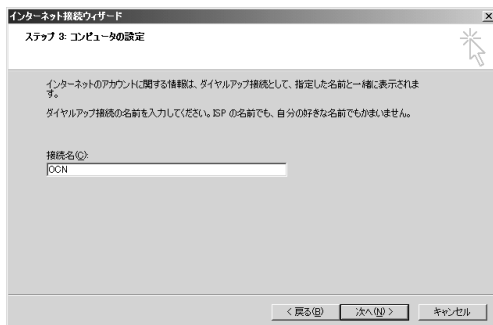


12 ユーザ名とパスワードを入力する。



13 [次へ >] をクリックする。

14 [接続名] に接続するプロバイダの名称などの、わかりやすい名前を入力する。



15 [次へ >] をクリックする。

インターネットメールアカウントの設定画面になります。

16 [いいえ] をクリックする。

続けてメールの設定を行う場合は [はい] をクリックして、ウィザードの指示に従います。

(次ページへ続く)

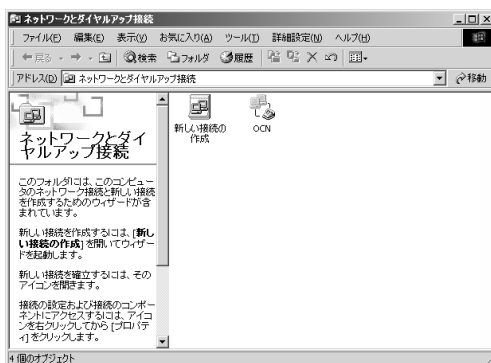
17 [次へ >] をクリックする。

[インターネット接続ガイドを終了します] 画面が表示されます。

チェックボックスのチェックを外してください。

18 [完了] をクリックする。

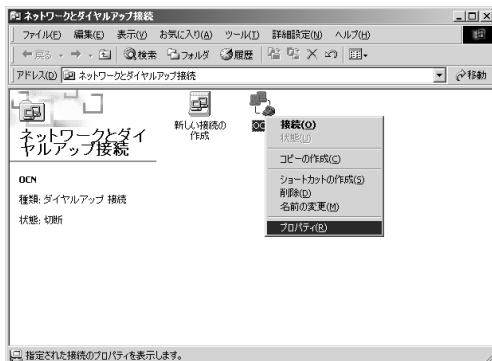
[ネットワーク] とダイヤルアップ接続に、作成した接続のアイコンが表示されます。



接続のプロパティを設定する

- 1 作成した接続にポインタを合わせ、マウスの右ボタンをクリックする。

ショートカットメニューが表示されます。



- 2 ショートカットメニューの [プロパティ] をクリックする。

作成した接続のプロパティ設定ダイアログボックスが表示されます。

PIAFS32Kアクセスポイントのときは「PF」、PIAFS64Kアクセスポイントのときは「PD」、MUX機能を使用した同期64Kアクセスポイントのときは「PA」、MUX機能を使用したマルチリンクPPPアクセスポイントのときは「PB」を電話番号の後ろにつけてください。



(次ページへ続く)

3 [構成] をクリックする。

モデムの構成画面が表示されます。

4 モデムプロトコルを接続するアクセスポイントに合わせる。

[最高速度]

...115 200 bpsが標準です。

[モデムプロトコル]

...AUTO (1 Ch) : 同期64Kか非同期
かPIAFS32Kの着
信

...PPP (128K) : マルチリンクPPP
発信

...PPP (64K) : 同期64K発信

...PIAFS-発信 : PIAFS発信

...V.110 (57.6K) : 非同期発信



5 [ハードウェアの機能] の [ハードウェアのフロー制御 を行う] だけに、チェック する。

6 [モデムスピーカーを使う] のチェックを外す。

7 [OK] をクリックする。

8 [ネットワーク] タブをクリ ックする。

9 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] がチェックさ れていることを確認する。

10

[呼び出すダイヤルアップサーバーの種類] に「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」が表示されていることを確認する。

他のサーバの種類が表示されているときは、[ダイヤルアップサーバーの種類] をプルダウンして [PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet] をクリックします。インターネット接続時には、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」以外のチェックを外してください。



(次ページへ続く)

- 11** [インターネットプロトコル (TCP/IP)] 選択し、[プロパティ] をクリックする。

[インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

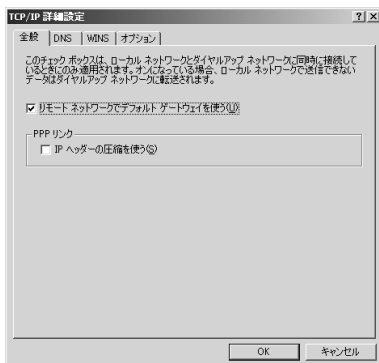
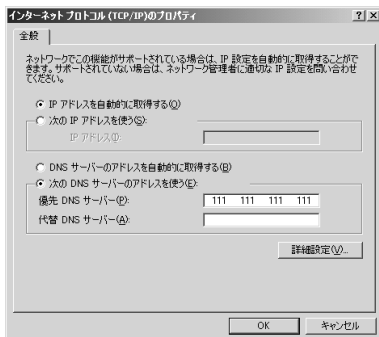
- 12** [IPアドレスを自動的に取得する] のラジオボタンが選択されていることを確認する。

- 13** [次のDNSサーバーのアドレスを使う] のラジオボタンをクリックし、プロバイダから通知されたDNS (ドメイン・ネーム・システム) サーバのIPアドレスを入力する。

- 14** [詳細設定] をクリックする。

- 15** [IPヘッダー圧縮を使う] のチェックを外す。

TCP/IPの設定の詳細は、プロバイダから通知された設定に従って行ってください。



16 各画面で [OK] をクリックする。

接続のプロパティの設定が完了します。



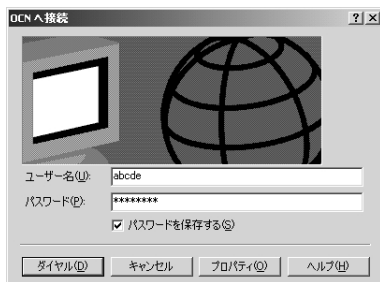
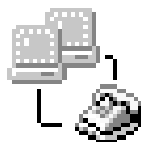
お知らせ

- モデムの最高速度とは
モデムのプロパティで設定した最高速度は、パソコンと本装置間の通信速度です。インターネットの通信速度のことではありません。通常、パソコンとモデムやTA（本装置）間の速度は、インターネットの通信速度より高く設定します。
- マルチリンクPPP（128 kbit/s）でインターネットに接続する場合、本装置とパソコン間の通信速度（●P50）を230 400 bit/sに設定してください。その場合、Windows® 2000に対応した市販の高速シリアルボードを別途用意する必要があります。

プロバイダのサーバに正しく接続できるか、接続操作で確認します。

プロバイダとの接続を確認する

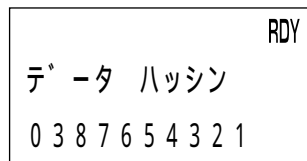
- 1 作成した接続のアイコンをダブルクリックする。



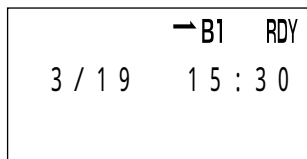
- 2 [ユーザー名]と[パスワード]を確認する。

3 [ダイヤル] をクリックする。

アクセスポイントにダイヤルされます。



つながるとユーザ名とパスワードが確認され、インターネットへの接続が完了すると接続時間が表示されます。

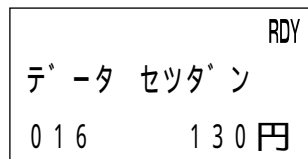


4 接続を確認したら、タスクトレイの [ダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする。




5 [ダイヤルアップネットワーク] の [切断] をクリックする。

回線が切断されます。





お知らせ

- モデム情報として同期64K通信用の「PPP (64K)」(P50)を選択しているにもかかわらず、本装置のディスプレイに  が表示されるときは、何らかの支障によりマルチリンクPPP通信で接続されています。このような場合は、モデム情報を一度削除して、再度インストールし直してください。
- 切断操作を行っても **B1** または **B2** が消えないときは、回線が切断されていません。このようなときは、他の機器（電話機など）が通信中でないことを確認して、本装置とINSネット64を接続している電話機コードを一度抜いて回線を強制的に切断してください。
- 本装置のRS-232CポートまたはUSBポートは、相手が話中の場合、自動的に再発信する回数を、最初の発信から3分間で2回までに制限しています。この制限を超えて再発信しようとしても受け付けられません。
- Windows[®] 2000の環境では、CD-ROMに同梱しているWindows[®] 2000用のモデム定義ファイルを使用してください。
- Windows[®] 2000は、RS-232Cポートで使用してください。USBポートでは使用できません。
- Windows[®] 2000のダイヤルアップ接続をした後で、ATコマンドのエコーや自動応答の設定が変わることがあります。続けてダイヤルアップ接続のみを行う場合は問題ありませんが、ハイパーターミナルなどの通信ソフトを使用した通信を行う場合は、設定が変わっていないかを確認してください。

本装置でインターネットに接続するための準備として、モデム情報をインストールし、インターネットに接続するためのネットワーク機能（リモートアクセスサービス）を設定します。

モデム情報をインストールする

モデム情報のインストール方法は、Windows® 98 / Windows® 95の場合と同じです。
(●P22)

リモートアクセスサービスを設定する

- 1 [スタート]をクリックしたあと、[設定]をポイントし、[コントロールパネル]をクリックする。

[コントロールパネル]が表示されます。

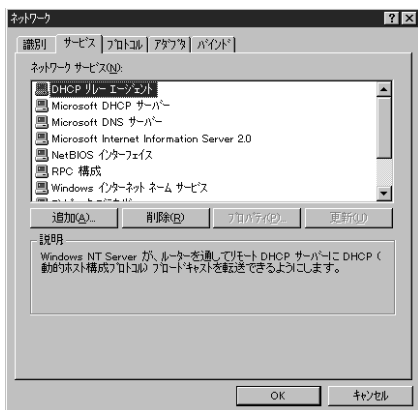


- 2 [ネットワーク]アイコンをダブルクリックする。

[ネットワーク]ダイアログボックスが表示されます。

3 [サービス] タブをクリックする。

[ネットワークサービス] の中に [リモートアクセスサービス] がない場合は、[追加] をクリックしてインストールしてください。インストールが終了すると、[リモートアクセスセットアップ] ダイアログボックスが表示されますので、手順5に進みます。



4 [リモートアクセスサービス] をクリックし、[プロパティ] をクリックする。

[リモートアクセスセットアップ] ダイアログボックスが表示されます。



5 [追加] をクリックする。

(次ページへ続く)

- 6** [RAS対応デバイス] をプルダウンして、「モデム情報をインストールする」(P57) でインストールしたモデム情報をクリックする。

接続するアクセスポイントに合わせて、モデム情報を選択してください。

非同期 (38.4/57.6 kbit/s)

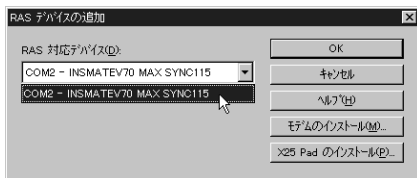
...INSMATEV70 MAX ASYNC115

同期 (64 kbit/s)

...INSMATEV70 MAX SYNC115

マルチリンクPPP (128 kbit/s)

...INSMATEV70 MAX MP128



- 7** [OK] をクリックする。

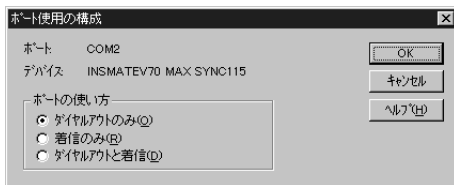
手順6で選択したモデム情報がポート、デバイス、種類に表示されます。



- 8** [構成] をクリックする。

[ポート使用の構成] ダイアログボックスが表示されます。

- 9** [ポートの使い方]の[ダイヤルアウトのみ]のラジオボタンをクリックする。



- 10** [OK]をクリックする。

[ネットワークの構成]ダイアログボックスが表示されます。

- 11** [ネットワーク]をクリックする。

- 12** [ダイヤルアウトプロトコル]の[TCP/IP]をチェックする。



- 13** [OK]をクリックする。

[リモートアクセスセットアップ]ダイアログボックスに戻ります。

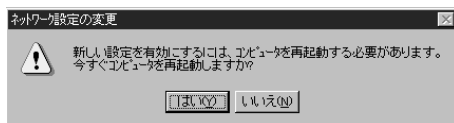
(次ページへ続く)

14 [続行] をクリックする。

[ネットワーク] ダイアログボックス
に戻ります。

15 [プロトコル] タブをクリック
する。**16** [ネットワークプロトコル]
に [TCP/IP] が追加され
たことを確認して、[閉じる]
をクリックする。

[ネットワーク設定の変更] ダイアロ
グボックスが表示されます。

**17** [はい] をクリックする。

Windows NT® 4.0 が再起動し、リ
モートアクセスサービスの設定が有効
になります。



お知らせ

- 「リモートアクセスサービスを設定する」の手順9で、「ダイヤルアウトのみ」を設定すると、COMポートは発信専用になります。着信も受けたいときは「ダイヤルアウトと着信」を設定してください。ただし、「ダイヤルアウトと着信」を設定すると、RAS着信待ちでCOMポートが占有され、イージーセットソフトを起動することができなくなります。イージーセットソフトで設定を行うときは一時的に「ダイヤルアウトのみ」に切り替えてください。
- パソコンを再起動させるときは、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないことを確認してください。入っていれば抜いてから再起動させてください。入っていると正常に再起動できません。

接続するプロバイダの情報を設定します。プロバイダから通知されたユーザID、DNSサーバのIPアドレス、アクセスポイントなどのメモを用意して設定を行ってください。また、プロバイダから設定についての情報が提供されている場合は、合わせて参照してください。

アクセスポイントを電話帳エントリに登録する

- 1 [スタート]をクリックして、
[プログラム] [アクセサリ]の順にポイントし、[ダイヤルアップネットワーク]
をクリックする。

[ダイヤルアップネットワーク] ダイアログボックスが表示されます。

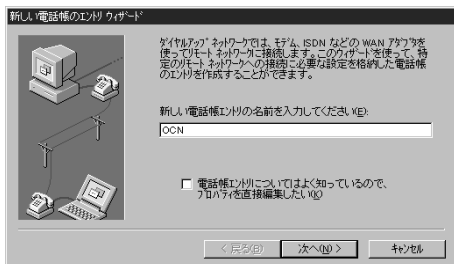


- 2 [新規]をクリックする。

[新しい電話帳のエントリウィザード]が表示されます。

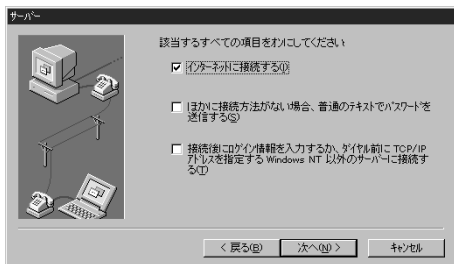
[新しい電話帳のエントリウィザード]が表示されないときは、手順7へ進みます。

- 3** [新しい電話帳エントリの...] に接続するプロバイダの名称などの、わかりやすい名前を入力する。



- 4** [次へ>] をクリックする。

- 5** [インターネットに接続する] をチェックする。



- 6** [次へ>] をクリックする。

7 アクセスポイントの電話番号を入力する。

[電話番号]

- ... アクセスポイントの電話番号(市外局番から入力する)
- (ハイフン) は入力してもしなくてもかまいません。



8 [次へ >] をクリックする。



9 [完了] をクリックする。

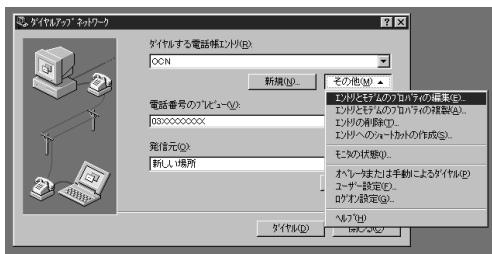
- [ダイヤルアップネットワーク] ダイアログボックスに戻ります。

接続のプロパティを設定する

- 1 [ダイヤルする電話帳エントリ]に登録した名前が表示されている状態で、[その他]をプルダウンし、[エントリとモデムのプロパティの編集]をクリックする。

[電話帳のエントリの編集]ダイアログボックスが表示されます。

[ダイヤルする電話帳エントリ]に他の名前が表示されているときは、プルダウンして登録した名前をクリックします。



- 2 [基本]タブをクリックする。

- 3 [ダイヤル方法]に「モデム情報をインストールする」(P57)でインストールしたモデム情報が表示されていることを確認する。



(次ページへ続く)

4 [構成] をクリックする。

[モデム構成] ダイアログボックスが表示されます。

5 [初期速度] をプルダウンし、
[115200] をクリックする。

マルチリンクPPP (128 kbit/s) で接続するときは、[230400] をクリックします。

6 [ハードウェアフロー制御を行う] をチェックする。

[ハードウェアフロー制御を行う] 以外の項目は、チェックを外してください。

**7** [OK] をクリックする。

[電話帳のエントリの編集] ダイアログボックスに戻ります。

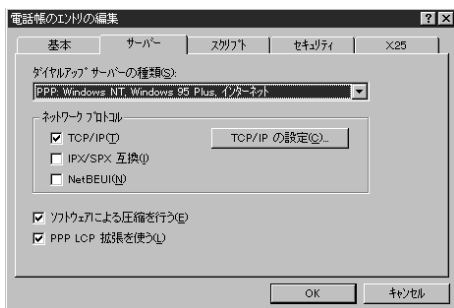
8 [サーバー] タブをクリックする。

[サーバー] ダイアログボックスが表示されます。

9 [ダイヤルアップサーバーの種類] をプルダウンして [PPP:Windows NT、Windows 95 Plus、インターネット] をクリックする。

10 [ネットワークプロトコル] の [TCP/IP] をチェックする。

[TCP/IP]以外の項目は、チェックを外してください。



11 [TCP/IPの設定] をクリックする。

[PPP TCP/IPの設定] ダイアログボックスが表示されます。

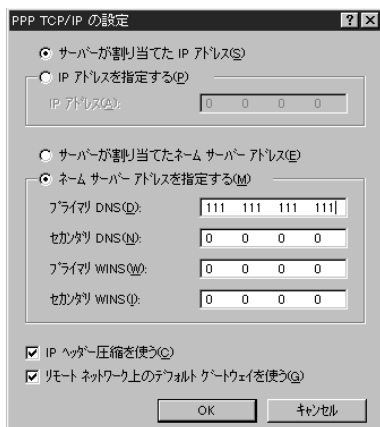
12 [サーバーが割り当てたIPアドレス] のラジオボタンをクリックする。

13 [ネームサーバーアドレスを指定する] のラジオボタンをクリックし、プロバイダから通知されたDNS (ドメイン・ネーム・システム) サーバのIPアドレスを入力する。

(次ページへ続く)

14 [IPヘッダー圧縮を使う] を
チェックする。

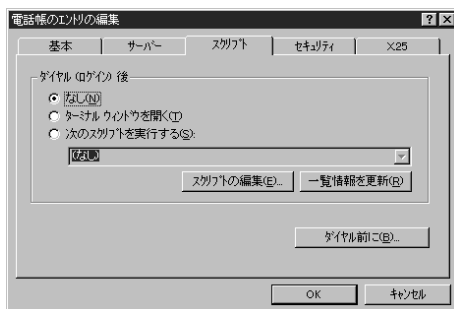
[PPP TCP/IP設定] の設定の詳細は、
プロバイダから通知された設定に従っ
て行ってください。



15 [OK] をクリックする。

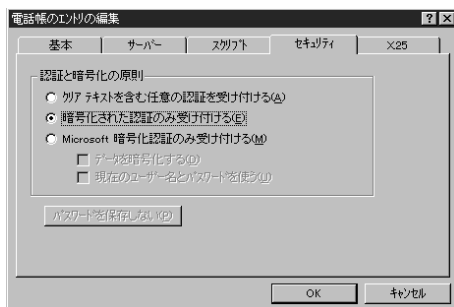
[電話帳のエントリの編集] ダイアロ
グボックスに戻ります。

16 [スクリプト] タブをクリッ
クする。



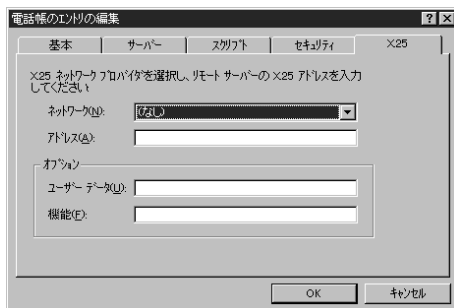
17 [ダイヤル(ログイン)後]の
[なし]のラジオボタンがク
リックされていることを確
認して[セキュリティ]タブ
をクリックする。

18 [認証と暗号化の原則]の
[クリアテキストを含む任意
の認証を受け付ける]また
は[暗号化された認証のみ
受け付ける]のラジオボタ
ンをクリックする。



19 [X25]タブをクリックする。

- 20** 表示された内容が、右の画面のようになっていることを確認する。



- 21** [OK] をクリックする。

[ダイヤルアップネットワーク] ダイアログボックスに戻ります。



お知らせ

- マルチリンクPPP (128 kbit/s) でインターネットに接続する場合、本装置とパソコン間の通信速度 (●P68) を230 400 bit/sに設定してください。その場合、ご利用のパソコンによっては、市販の高速シリアルボードを別途用意する必要があります。

プロバイダのサーバに正しく接続できるか、接続操作で確認します。

プロバイダとの接続を確認する

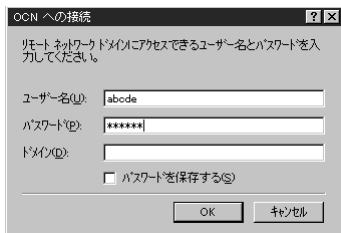
- 1 [ダイヤルアップネットワーク] ダイアログボックスを表示させる。



- 2 [ダイヤルする電話帳エントリ] に登録した名前が表示されている状態で、[ダイヤル] をクリックする。

[ダイヤルする電話帳エントリ] に他の名前が表示されているときは、プルダウンして登録した名前をクリックします。

- 3 [ユーザー名] と [パスワード] を入力する。



(次ページへ続く)

4 [OK] をクリックする。

アクセスポイントにダイヤルされます。

RDY	
データ ハッシュ	
0 3 8 7 6 5 4 3 2 1	

つながるとユーザ名とパスワードが確認され、インターネットへの接続が完了すると[接続の完了]が表示されます。

→ B1	RDY
3 / 19	15 : 30

5 接続を確認したら、タスクトレイの右端にある[ダイヤルアップネットワークモニター]アイコンをダブルクリックする。

[ダイヤルアップネットワークモニター]が表示されます。



6 [切断] をクリックする。

「...切断しますか?」と表示されます。

7 [はい] をクリックする。

回線が切断されます。

RDY	
データ セツタ ン	
0 1 6	130 円



お知らせ

- 切断操作を行っても B1 または B2 が消えないときは、回線が切断されていません。このようなときは、他の機器（電話機など）が通信中でないことを確認して、本装置とINSネット64を接続している電話機コードを一度抜いて回線を強制的に切断してください。
- 本装置のRS-232CポートまたはUSBポートは、相手が話中の場合、自動的に再発信する回数を、最初の発信から3分間で2回までに制限しています。この制限を超えて再発信しようとしても受け付けられません。

イージーウィザードでインターネット接続の設定を行うには

イージーウィザードを使用して、インターネット接続に必要なパソコンと本装置の設定を一度に行うことができます。お手元にプロバイダから通知されたユーザIDやパスワードが記載されたメモを用意してから操作を始めてください。

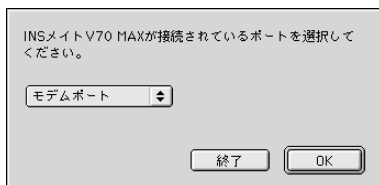
イージーウィザードでインターネット接続の設定を行うことができるのは、Mac OS 8以降のOSをご利用になっている場合です。

1 本装置の電源を入れる。

2 [V70 MAXユーティリティ] フォルダをダブルクリックする。

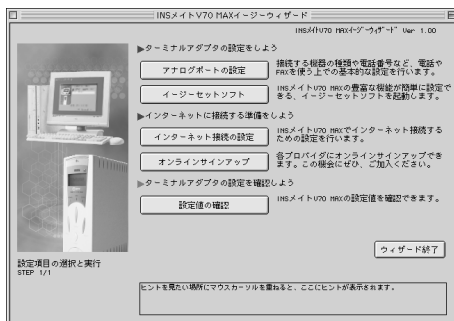
3 [INSメイトV70 MAXイージーウィザード] アイコンをダブルクリックする。

接続ポートの選択になります。



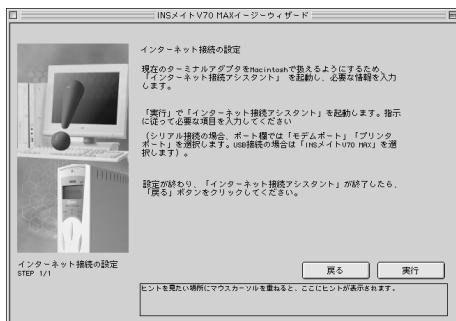
4 接続ポートを選択し、[OK] をクリックする。

メニュー画面が表示されます。



(次ページへ続く)

5 [インターネット接続の設定]をクリックする。



6 表示された内容を読んで、 [実行]をクリックする。

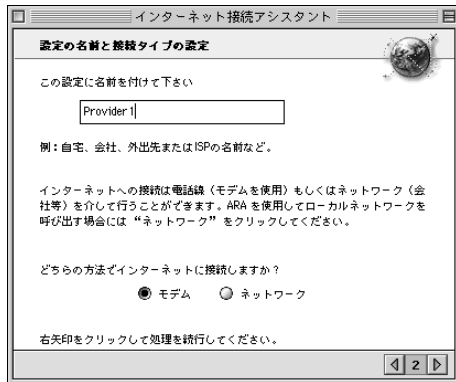
インターネット接続アシスタントが起動します。



7 表示される案内に従い、[設定の名前と接続タイプの設定] が表示されるまで進む。

8 [この設定に名前を...] に、接続するプロバイダの名称などの、わかりやすい名前を入力する。

9 [どちらの方法でインターネットに...] の [モデム] をクリックする。



(次ページへ続く)

10 をクリックする。

[どのモデムをお使いですか?] をクリックし、接続するアクセスポイントに合わせてモデム情報を選択してください。

非同期 (38.4 kbit/s)

.....INSMATEV70 MAX 38.4K

非同期 (57.6 kbit/s)

.....INSMATEV70 MAX 57.6K

同期 (64 kbit/s)

.....INSMATEV70 MAX 64KPPP

マルチリンクPPP (128 kbit/s)

.....INSMATEV70 MAX MP

PIAFS (32 kbit/s)

.....INSMATEV70 MAX PIAFS32K

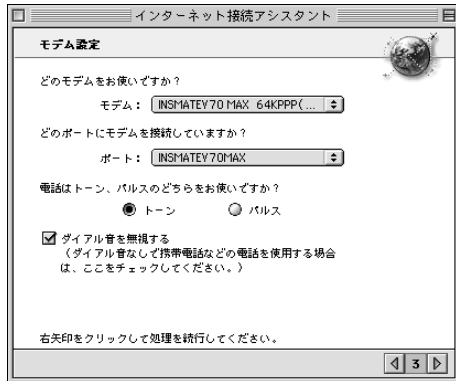
PIAFS (64 kbit/s)

.....INSMATEV70 MAX PIAFS64K

11 [どのポートにモデムを接続...] をクリックし、本装置を接続しているポートを選択する。

MacintoshのUSBポートに本装置を接続している場合は、[INSMATEV70 MAX] を選択してください。
[INSMATEV70 MAX] が表示されないときは、本装置とパソコンが正しく接続されていません。

- 12** [トーン] が選択されていることを確認し、[ダイアル音を無視する] がチェックされていることを確認する。



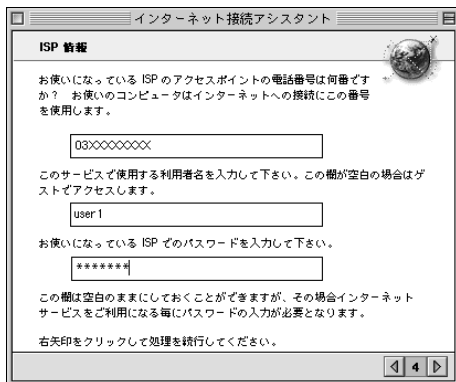
- 13** をクリックする。

- 14** [お使いになっているISPのアクセスポイントの...] にアクセスポイントの電話番号を入力する。

- (ハイフン) は入力してもしなくてもかまいません。

- 15** [このサービスで使用する利用者を...] にユーザIDを入力する。

- 16** [お使いになっているISPでの...] にパスワードを入力する。

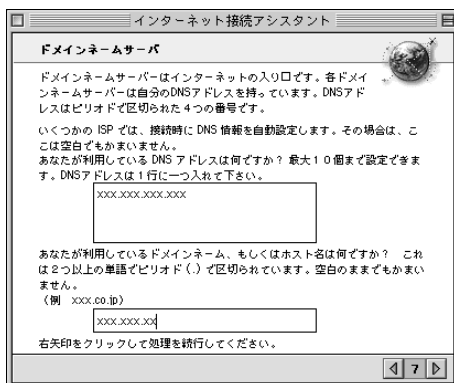


- 17** をクリックする。

- 18** 表示される案内に従い、[ドメインネームサーバ] が表示されるまで進む。

- 19** [ドメインネームサーバはインターネットの...] に、プロバイダから通知されたDNS (ドメイン・ネーム・システム) サーバのIPアドレスを入力する。

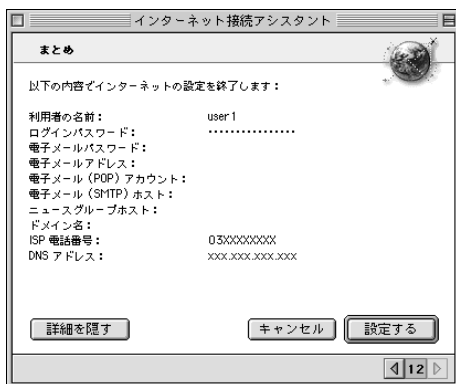
- 20** [あなたが利用しているドメインネーム...]に、プロバイダから通知されたDNSサーバのドメイン名を入力する。



- 21** をクリックする。
- 22** 電子メール、ニュースなどの設定を表示される案内に従って設定する。
- 23** [まとめ]が表示されたら、[終了時に接続]のチェックを外し、[詳細表示]をクリックする。

(次ページへ続く)

- 24** [まとめ]の[詳細表示]が表示されたら、設定内容を確認する。



- 25** [設定する]をクリックする。

- 26** イージーウィザードに戻り、[戻る]をクリックする。

- 27** [ウィザード終了]をクリックする。

イージーウィザードが終了します。

お使いのMac OSによっては、接続アシスタントがご利用になれます。その場合は、モデムやプロバイダの情報を簡単に設定することができます。プロバイダから通知されたユーザID、DNSサーバのIPアドレス、アクセスポイントなどのメモを用意して設定を行ってください。また、プロバイダから設定についての情報が提供されている場合は、合わせて参照してください。

接続アシスタントでモデムやサーバ情報を設定する

- 1 アップルメニューをプルダウンして [インターネットアクセス] をポイントし、[インターネット接続アシスタント] をクリックする。

インターネット接続アシスタントが起動します。

- 2 以降の操作は、「イーージーウィザードでインターネット接続の設定を行うには」の手順 7 ~ 24 と同じです。
(●P77)

(次ページへ続く)

TCP/IPを設定する

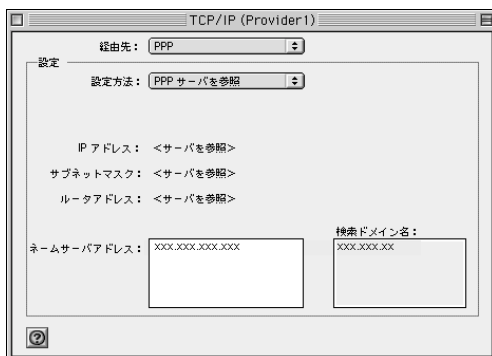
- 1 アップルメニューをプルダウンして [コントロールパネル] をポイントし、[TCP/IP] をクリックする。

[TCP/IP] コントロールパネルが表示されます。

- 2 [経由先] をクリックし、[PPP] を選択する。

- 3 [設定方法] をクリックし、[PPPサーバを参照] を選択する。

- 4 [ネームサーバアドレス] と [検索ドメイン名] にインターネット接続アシスタントで設定したIPアドレスとドメイン名が表示されていることを確認する。



5 クローズボックスをクリックする。

「変更内容を現在の設定に保存しますか？」と表示されます。

6 [保存] をクリックする。

[TCP/IP] コントロールパネルが設定されます。

プロバイダとの接続を確認する

- 1 アップルメニューをプルダウンして [コントロールパネル] をポイントし、[リモートアクセス] をクリックする。

[リモートアクセス] コントロールパネルが表示されます。

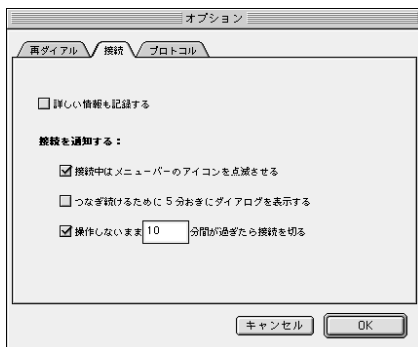
- 2 [登録利用者] のラジオボタンが選択されていることを確認して、[名前] [パスワード] [電話番号] に接続アシスタントで設定した内容が表示されていることを確認する。

[パスワードを保存] をチェックすると、次回接続するときに、パスワードを入力する必要がありません。

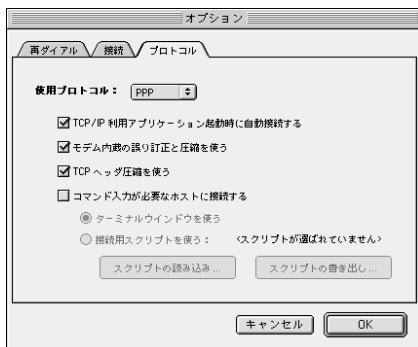


- 3 [オプション] をクリックする。

4 [接続] タブをクリックする。



5 [使用プロトコル] はPPPが表示され、[操作しないまま10分間が過ぎたら接続を切る] がチェックしてあることを確認し、[プロトコル] タブをクリックする。



6 [モデム内蔵の誤り訂正と圧縮を使う] と [TCPヘッダ圧縮を使う] がチェックしてあることを確認して [OK] をクリックする。

[リモートアクセス] コントロールパネルに戻ります。

(次ページへ続く)

- 7** [リモートアクセス] コントロールパネルの [接続] をクリックする。

アクセスポイントにダイヤルされます。

つながるとユーザ名とパスワードが確認され、インターネットへの接続が完了すると [リモートアクセス] コントロールパネルの [状況] に速度や時間などが表示されます。

RDY

データ ハッシン

0 3 8 7 6 5 4 3 2 1

B1 RDY

3 / 19 15 : 30

- 8** 接続を確認したら、[リモートアクセス] コントロールパネルの [接続を切る] をクリックする。

回線が切断されます。

RDY

データ セツタン

0 1 6 130 円

- 9** クローズボックスをクリックする。

「変更内容を現在の設定に保存しますか？」と表示されます。

- 10** [保存] をクリックする。

[リモートアクセス] コントロールパネルが設定されます。



お知らせ

- 切断操作を行っても **B1** または **B2** が消えないときは、回線が切断されていません。このようなときは、他の機器（電話機など）が通信中でないことを確認して、本装置とINSネット64を接続している電話機コードを一度抜いて回線を強制的に切断してください。
- 本装置のRS-232CポートまたはUSBポートは、相手が話中の場合、自動的に再発信する回数を、最初の発信から3分間で2回までに制限しています。この制限を超えて再発信しようとしても受け付けられません。

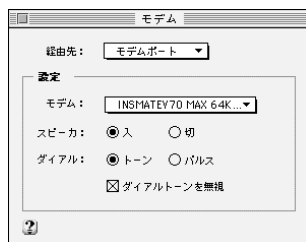
Mac OS 8より以前のOSをご利用の場合は、お使いのOSにより利用できるネットワークソフトウェアを確認し、インストールと設定を行います。ここでは、設定のポイントと本装置に關係する設定項目について、例を紹介しますので参考にしてください。

Mac OS 7.6 / Mac OS 7.6.1を使用している場合

Mac OS 7.6 / Mac OS 7.6.1には、接続アシスタントは付属していませんので、次の設定を行ってください。

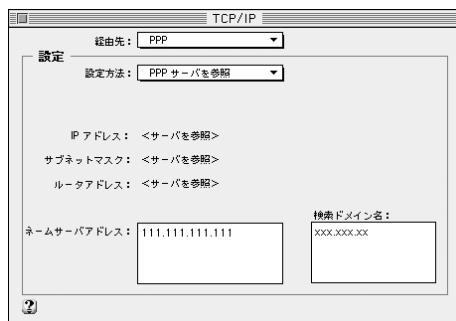
モデム情報の設定 ([モデム] コントロールパネル)

[モデム] コントロールパネルで、本装置が接続されているポートやモデム情報を設定します。



サーバ情報の設定 ([TCP/IP] コントロールパネル)

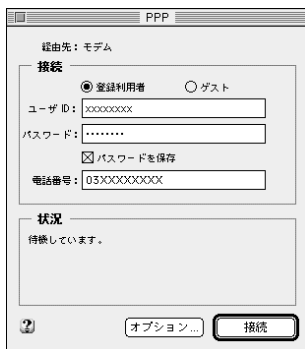
[TCP/IP] コントロールパネルで、DNSサーバのIPアドレスやドメイン名を設定します。



(次ページへ続く)

ユーザID / アクセスポイントの設定 ([PPP] コントロールパネル)

[PPP] コントロールパネルで、ユーザIDやアクセスポイントを設定します。



- Open Transport PPPをインストールする

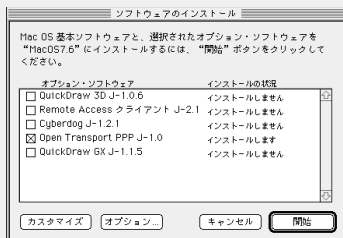
[TCP/IP] コントロールパネルで [経由先] をポイントしても [PPP] が表示されない場合は、Open Transport PPPがインストールされていません。Mac OS 7.6をご利用の方で、Open Transport PPPがインストールされていない場合は、あらかじめMac OS 7.6のCD-ROMからインストールしておく必要があります。

Mac OSのインストーラを起動する。

オプションを選択する画面で、[Open Transport PPP] をチェックする。

Open Transportのみをインストールするときは、他のオプションのチェックを外します。

[開始] をクリックする。



ワンポイント

- Performaシリーズをお使いの場合は、コントロールパネルの機能拡張マネージャで [A/ROSE] のチェックを外さないと動作しない場合があります。チェックの外しかたは、Macintoshの取扱説明書を参照してください。

- モデム内蔵の機種をお使いの場合は、コントロールパネルの機能拡張マネージャで内蔵モデム関係のチェックを外さないと、モデムポートを利用できないことがあります。詳細は、アップルカスタマーアシスタンスセンターにお問い合わせいただくか、モデムポートの代わりにプリンタポートをご使用ください。



お知らせ

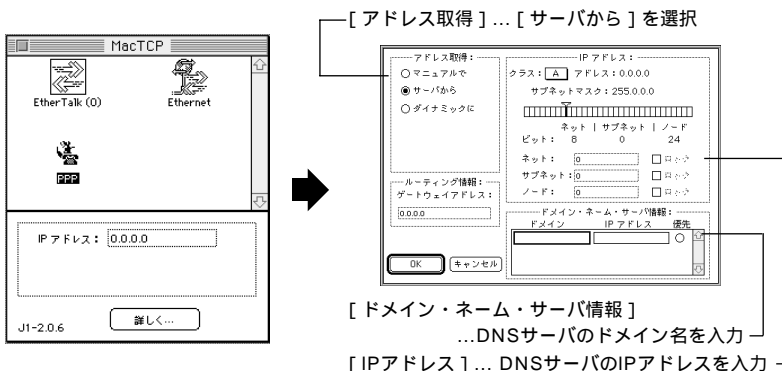
漢字Talk 7.5.1 / 漢字Talk 7.5.2を使用している場合

MacTCPとPPPモジュールのインストール

MacTCPは、漢字TalkのCD-ROMのインストーラを起動し、カスタムインストールでインストールします。また、MacTCP対応のPPPモジュール（MacPPPなど）は、説明書などを参照してインストールします。

MacTCP設定のポイント

コントロールパネルのMacTCPを開き、[詳しく] をクリックする。



MacPPP（例）設定のポイント

モデム情報をインストールする代わりに、本装置に関するモデムの初期化コマンドとして、以下のコマンドを入力してください。

非同期（38.4/57.6 kbit/s） ...ATQ0V1X3 \$ N1=0 ¥Q3&D1

同期（64 kbit/s） ...ATQ0V1X3 \$ N1=1

マルチリンクPPP（128 kbit/s） ...ATQ0V1X3 \$ N11=1

PIAFS（32 kbit/s） ...ATQ0V1X3 \$ N1=2 \$ N15=0

PIAFS（64 kbit/s） ...ATQ0V1X3 \$ N1=2 \$ N15=1

使用ポート、通信速度、トーン、ユーザID、パスワードなどの設定は、基本的にはMac OS 7.6以降のOSと同じ要領で設定できます。ご利用のPPPモジュールの説明書やプロバイダからの案内を参照して行ってください。

漢字Talk7.5.3 / 漢字Talk7.5.5を使用している場合

TCP/IPとPPPモジュールのインストール

TCP/IPは、漢字Talk7.5.3 / 漢字Talk7.5.5の標準インストールでインストールされますので、あらためてインストールする必要はありません。また、TCP/IP対応のPPPモジュール（FreePPPなど）は、説明書などを参照してインストールします。

TCP/IPの設定

TCP/IPの設定は、Mac OS 7.6以降をご利用の場合と同じです。（➡P89）

**お知らせ**

- 漢字Talk7.5.3にアップグレードした場合、標準では旧ネットワークソフトウェア（MacTCP）を使用する設定になっています。TCP/IPを使用するためには、[Appleエクストラ] フォルダの [ネットワークソフト選択] を起動して、[OpenTransportを使用する] を設定して起動し直してください。

FreePPPの設定

モデム情報をインストールする代わりに、本装置に関するモデムの初期化コマンドとして、以下のコマンドを入力してください。

非同期（38.4/57.6 kbit/s） ...ATQ0V1X3\$N1=0¥Q3&D1

同期（64 kbit/s） ...ATQ0V1X3\$N1=1

マルチリンクPPP（128 kbit/s） ...ATQ0V1X3\$N11=1

PIAFS（32 kbit/s） ...ATQ0V1X3\$N1=2\$N15=0

PIAFS（64 kbit/s） ...ATQ0V1X3\$N1=2\$N15=1

使用ポート、通信速度、トーン、ユーザID、パスワードなどの設定は、基本的にはMac OS 7.6以降のOSと同じ要領で設定できます。ご利用のPPPモジュールの説明書やプロバイダからの案内を参照して行ってください。

うまく接続できないときは

インターネットに接続できないときのチェックポイントです。

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
本装置のSD/RD (Send Data/Receive Data) ランプが点灯しない	接続ケーブルが外れている	本装置とパソコンを正しく接続してください	取扱説明書 ●P35
	接続ポートの設定を間違えている	パソコンのポートの設定が本装置を接続しているポートになっているか確認してください	●P26、42、75、78
「モデムからの応答がありません」と表示される	接続ポートの設定を間違えている	パソコンのポートの設定が本装置を接続しているポートになっているか確認してください	●P26、42、75、78
「モデムは他のプログラムで使用中です」と表示される	接続ポートを他のアプリケーションが使用している	アプリケーションを終了させてから接続し直してください	
	モデム内蔵パソコンを使用している	外付けTAを使用する方法をパソコンの取扱説明書やパソコンメーカー窓口で確認してください	
	Windows NT [®] 4.0で、ポートの使い方を「ダイヤルアウトと着信」に設定している	「ダイヤルアウトのみ」に設定してください	●P61

(次ページへ続く)

うまく接続できないときは

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
本装置の液晶ディスプレイに「データハッシュ」と表示されたあと通常の表示に戻ってしまう	アクセスポイントの選択を間違えている	INSネット64用のアクセスポイントを選択しているか確認してください	●P31、46、66、79
	アクセスポイントの電話番号を間違えている	アクセスポイントの電話番号が正しく入力されているか確認してください	●P31、46、66、79
	DNSサーバの設定を間違えている	DNSサーバのIPアドレスとドメイン名の設定を確認してください	●P34、52、69、80
	ユーザ名(ID)、パスワードの入力を間違えている	ユーザ名(ID)とパスワードの設定を確認してください	●P36、54、73、79
	プロバイダが混んでいる	しばらく待ってから接続し直してください	
	モデム情報の選択を間違えている	モデム情報の選択がアクセスポイントと合っているか確認してください	●P30、50、60、78
「ログオン中のユーザにアドミニストレータ権限がありません。」と表示され、モデムがインストールできない (Windows® 2000 ご利用時)	Administratorの設定がされていない	[ユーザとパスワード] コントロールパネルを開き、[追加] ボタンをクリックして、Administratorを設定してください	
Mac OS 8.6以前を使用していて、正常にインターネットに接続できない	「リモートアクセス」または「PPP」の使用プロトコルが「PPP」以外になっている	「PPP」になっているか確認してください 異なる場合は、本装置とパソコンを接続しているケーブルを抜き差ししてから、「PPP」へ変更してください	●P87

数字、アルファベット

- 128KマルチリンクPPP ...25、28、30、
50、53、60、72、78
- DNSサーバ34、52、69、80
- FreePPP6、92
- IPアドレス34、52、69、80
- MacPPP6、91
- MacTCP6、91
- Open Transport PPP6、90
 - Open Transport PPPを
インストールする90
- PIAFS
 - PIAFSのアクセスポイントに
接続する31、46、78
- PPPモジュール6
- TCP/IP6
 - TCP/IPをインストールする...11、92
- TCP/IPコントロールパネル84

五十音

【ア行】

- アクセスポイント30、46、66、79
- アプリケーション6
- インストール
 - Open Transport PPPを
インストールする90
 - TCP/IPをインストールする...11、92
 - ダイヤルアップネットワークを
インストールする8
 - モデム情報をインストール
する22、39、57
- インターネット
 - インターネットに接続
する36、54、73、86
 - インターネットに接続するまでの
手順7
 - インターネット利用に
必要なもの6

【カ行】

- 漢字Talk6、91、92

【サ行】

- 最高速度27、28
- 初期化コマンド91、92

【タ行】

- ダイヤルアップネットワーク6、8、
29、64
- ダイヤルアップ
 - ネットワークモニタ37、55、74
- ダイヤルのプロパティ27
- 電話帳エントリ64
- 電話番号
 - アクセスポイントの電話番号を
入力する31、46、66、79
- 同期25、30、50、60、78
- ドメインネームサーバ ...34、52、69、80

【ナ行】

- ネームサーバアドレス34、69
- ネットワークとダイヤルアップ接続
コントロールパネル44

【ハ行】

- パスワード36、54、73、80
- 非同期25、30、50、60、78
- プロバイダ6
- ポート26、42、78

【マ行】

- マルチリンクPPP25、28、30、
50、60、72、78
- モデム
 - モデム設定79
 - モデム情報をインストール
する22、39、57
 - モデムのプロパティを
設定する27

【ヤ行】

ユーザID (名)36、54、73、79

【ラ行】

リモートアクセスコントロールパネル86

リモートアクセスサービス58

MEMO

MEMO

MEMO



このインターネット
接続ガイドは、エコ
マーク認定の再生紙
を使用しています。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：☎ 0120 - 109217

トークニーナ

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。



©2000 NTTEAST・NTTWEST

本2083-1(2000.03)
INSメイトV70 MAXトリセツ